

公益財団法人荒川区自治総合研究所—現状報告

副所長 長田七美

1 研究所の概要

- ◆ 設立年月日 平成 21 年 10 月 1 日
- ◆ 組織形態 一般財団法人で設立（平成 23 年 8 月 1 日に公益認定）
- ◆ 機能
 - 政策形成の要
 - 区から独立し、多角的・中長期的な視点による調査研究
 - 調査研究活動を通じた職員の政策形成能力の向上
 - 情報発信、政策提言
- ◆ 組織体制
 - 役員等（評議員、理事、監事）
 - 客員研究員
 - 所長、副所長、研究員、事務員 計 8 名（固有職員 4 名、区派遣職員 4 名）
- ◆ 平成 26 年度予算 約 3,700 万円

2 研究テーマとその選定方法

- ◆ 研究テーマ
 - 荒川区民総幸福度（Gross Arakawa Happiness : GAH）に関する研究
 - 子どもの貧困・社会排除問題研究
 - 親なき後の支援に関する研究
 - 地域力研究
 - CS と職員のモチベーションに関する研究
- ◆ 選定方法
 - 区政における重要な課題
 - 多角的・中長期的
 - 組織横断的
 - 科学的・中立的

3 大学その他の研究機関との連携

- ◆ 研究会、ワーキング・グループの設置
- ◆ 客員研究員、区民委員等
- ◆ 学識経験者等による専門知識と職員の実務経験の両方を活かした検討

4 研究成果と区の政策との関わり

- ◆ 研究会には関係部署の職員が参画
- ◆ 調査研究の段階から関係部署と情報収集、意見交換、調整
- ◆ 日常的に調査結果の活用（モデルケース）
- ◆ 区職員を対象に報告会、調査結果等を庁内LANで公開、荒川区職員ビジネスカレッジ（ABC）との連携講座等
- ◆ 庁議・議会報告

5 研究所の課題

- ◆ 政策提言のフォロー（アドバイス）
- ◆ 政策形成支援
- ◆ 専門性の確保と能力のレベルアップ
- ◆ 自主財源の確保

6 様々な機会を捉え意見交換

- ◆ 研究成果等について関連団体や区民へ説明・意見交換
- ◆ 自治体、民間団体等からの視察や講演依頼の機会に意見交換・助言
- ◆ 「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）」（平成25年6月5日発足）による全国の市町村との情報交換・意見交換

2015年2月23日

第1回都市調査研究交流会

無断転載、複製および転訳載を禁止します。

引用の際は本書（稿）が出典であることを必ず明記してください。

This paper is copyrighted and may not be copied or duplicated in any manner including printed or electronic media, regardless of whether for a fee or gratis without the prior written permission of the authors and Japan Center for Cities. Any quotation from this paper requires indication of the source.

